

寄付実績

「ボラサポ・九州」では、多くの企業・団体・市民の皆さまからのご協力をいただいています。

これまでの寄付総額 **5 億 1,773 万 7,337 円**
(2017年7月20日現在)

引き続き、皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

■ 寄付金の受入口座 ■

三井住友銀行 東京公務部
普通預金 口座番号●0162552
口座名●社会福祉法人中央共同募金会ボラサポ九州支援金

※ボラサポ・九州への寄付金は、税制上の優遇措置（所得税、法人税）の適用対象となります。
<根拠法令等> 所得税法第78条 法人税法第37条

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.akaihane.or.jp/kumamoto/donation>

「ボラサポ・九州」は皆さまからの支援金で運営しています

被災地を支える募金には、大きく義援金と支援金の2つがあります。

義援金は、被災状況に応じ、被災地行政を通じてお見舞金として被災者個人に配られます。

支援金は、被災地でのボランティア団体やNPOによる復旧、復興活動に役立てられます。

「ボラサポ・九州」は支援金で運営しており、被災地や被災者のニーズに応じて行われる、即応性や柔軟性の高い活動への助成を通じて、被災された方々の支援につなげています。

■ 「ボラサポ・九州」へのご支援ご協力企業・団体 (五十音順・敬称略)

アサヒビール株式会社
株式会社アドバンテッジリスクマネジメント
株式会社阿部材木店
ELGC株式会社 M・A・C事業部
MS&ADインシュアランスグループ
大阪ガスグループ“小さな灯”運動
オリコグループ社会貢献ファンド
株式会社カインズ
霞が関コモンゲート管理組合
(新日鉄興和不動産株式会社)
株式会社カタログハウス
「じしん保険『絆』支援金」プロジェクト
株式会社ジャパネットたかた
株式会社ジャパネットホールディングス
昭和電線ホールディングス株式会社
白金運輸株式会社
株式会社スミフルジャパン
有限会社総社清掃
ソフトバンク株式会社

ソフトバンク・テクノロジー株式会社
Doing Business as Azuna-kai
東京特殊電線株式会社
日本イーライリリー株式会社
日本たばこ産業株式会社
日本弁理士協同組合
野村ホールディングス株式会社
株式会社バーニーズ ジャパン
パナソニック株式会社
芙蓉総合リース株式会社
古河エレコム株式会社
古河産業株式会社
古河電気工業株式会社
三菱ケミカル・クリンスイ株式会社
三菱自動車工業株式会社
三菱電機株式会社
三菱電機特機システム株式会社
株式会社ユナイテッドアローズ

このほか多くの企業・団体の皆さまのご支援ご協力に感謝申し上げます。



赤い羽根 「災害ボランティア・NPO活動 サポート募金」・九州 (ボラサポ・九州) 報告

「支える人を支える」しくみ



赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」・九州(ボラサポ・九州) 報告

発行 2017年10月
社会福祉法人 中央共同募金会
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
Tel ● 03-3581-3846 Fax ● 03-3581-5755
メール ● support@c.akaihane.or.jp
ホームページ ● <http://www.akaihane.or.jp/kumamoto>
ボラサポ・九州Facebook ● <https://www.facebook.com/borasapo>

ボラサポ・九州とは

2016年4月14日以降に熊本県と大分県で相次いで発生した平成28年（2016年）熊本地震では、甚大な被害が生じました。

赤い羽根の中央共同募金会では、発災直後の2016年4月19日より、被災地等で支援活動を行う団体を経済的に支えることを目的に、全国の皆さまからお寄せいただくご寄付を財源として、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」・九州（以下「ボラサポ・九州」）を立ち上げました。

この助成事業を通じて、被災した人々を支援するボランティアやNPO等と被災地の人々が協力しあい、さまざまな活動にともに取り組み、人々のつながりをはぐくみながら、被災地域コミュニティの再興に向けて市民の力を高めることを願っています。

今後は、被災地の住民の方たちが主体的に参加する活動を、より重点的に支援することで、長期間、継続的に支えあえるよう、応援していきます。

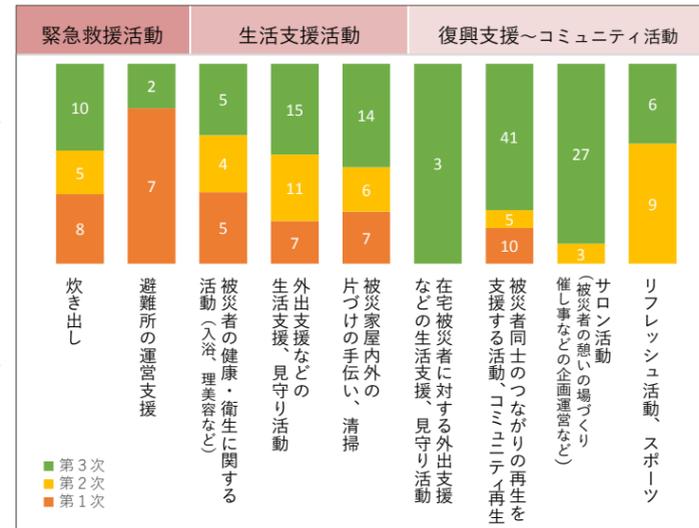
現地状況

被災地では、今なお、およそ4万7,000人の方々が、「応急仮設住宅」ならびに「みなし仮設住宅（仮設住宅とみなされる民間の賃貸住宅）」での生活を余儀なくされています（2017年6月現在）。

一方で、被災者のニーズには変化が見られ、求められる支援活動の内容は、緊急救援活動から生活支援、復興支援へと転換しつつあります（右図参照）。生活支援期以降は、被災者の生活環境の変化によるひきこもりや孤立防止のため、地元の方々を中心とした交流・見守り・買い物等の日常生活支援など、被災者一人ひとりに寄り添った、息の長い支えあいの活動が必要となります。

このような被災地の状況から、中央共同募金会では、2019年3月31日をめどに、支援を継続します。

■「ボラサポ・九州」助成決定団体による活動内容の推移



助成概要

「ボラサポ・九州」では、これまで3回の助成を決定し、助成件数は182件、助成決定額は3億2,952万円となっています（2017年7月現在）。

助成の決定にあたっては、できるだけ多くの団体・活動に助成することで、被災された方々に、より広くきめ細やかに寄り添い、支える活動となることを期待し、採択率は77%と高くなっています。

■ 第3次までの助成状況（全体状況）

	応募		助成決定		
	件数	助成額（万円）	件数	助成額（万円）	採択率（%）
第1次	102	20,529	88	15,497	86
第2次	59	11,807	44	6,891	75
第3次	74	17,784	50	10,564	68
計	235	50,120	182	32,952	77

活動事例

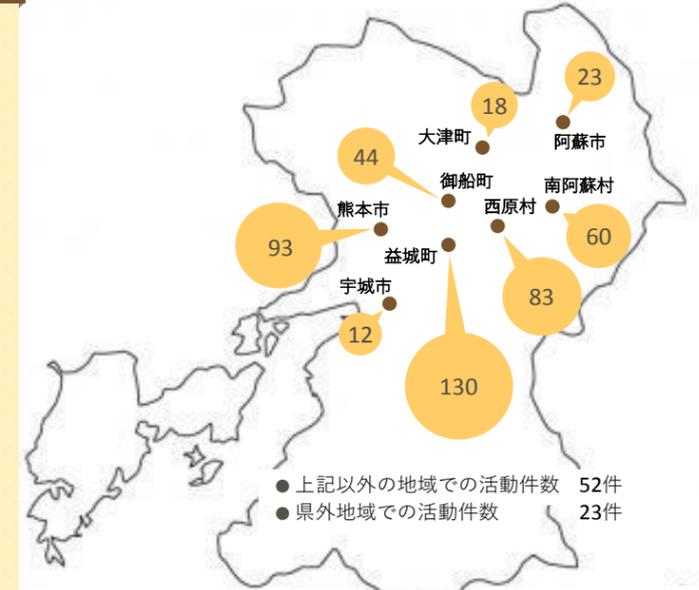
「ボラサポ・九州」の助成を受けて実施された活動の一部をご紹介します。

特定非営利活動法人 エヌピーオーくまもと (2016.4.19～9.30) 熊本県全域

行政機関とNPOとの充実した連携を図るため、発災直後に熊本県・熊本県社会福祉協議会・NPOの連携会議、NPO等の情報共有会議を設置・運営しました。現在は「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク（KVOAD）」として、復興に向けて現場で支援活動をするNPO等と行政との相互理解を進めるため、重要な役割を果たしています。

● 寄付者へのメッセージ ●

被災地の中間支援組織として有意義な活動ができました。その原資となったのが皆さまの寄付です。今後も復興や防災のための活動を続けていきます。



※ 吹き出し内の数字は、助成決定団体が活動した地域ごとのべ活動件数

日本社会福祉士会 (2016.10.1～12.27) 西原村、益城町

西原村と益城町の地域包括支援センターに社会福祉士を派遣し、現地職員の指示のもと、避難所や在宅者の安否確認をはじめ、仮設住宅の訪問、声かけ、見守り、要保護要介護者基本情報シートの作成や緊急性の有無のチェック、台帳作成や実態把握、訪問記録の作成等の支援活動を行いました。その結果が、地域住民の生活支援にもつながりました。

● 寄付者へのメッセージ ●

現地の地域包括支援センターから、当初の予定より長く継続派遣の要請を受けるなど、寄付金による助成のおかげで、地域住民のために役立つ活動ができました。



熊本高等専門学校 科学技術教育支援室 (2016.6.01～11.13) 益城町

熊本高等専門学校の教職員と生徒が中心となり、益城中央小学校の体育館で実験イベントを開催しました。未就学児から小・中・高校生、大人まで95名が来場し、「毎年開催してほしい」といった声をいただくなど、たいへん好評でした。生徒が講師役を務め、1対1で対応し、対話を通じて科学に関する興味関心を喚起したことが効果的だったと考えています。

● 寄付者へのメッセージ ●

助成いただいたおかげで、被災地の子どもたちに、科学体験を通して、科学技術に興味を持ち、多くの感動を得る機会を提供することができました。



● 助成団体の活動内容報告は、本会のホームページでご紹介しています。 <https://goo.gl/5g7DPN>